

YES PEACE!

伝えたい 核とヒバクシャ

世界の核とヒバクシャに関する様々なストーリー。

人々の記憶から消えつつある出来事の貴重な証言を、次の世代へと引き継ぐために、今できることは？

2018年
9月9日[日] 13時～17時30分

めぐろパーシモンホール 小ホール

東急東横線・都立大学駅より徒歩7分

東京都目黒区八雲1丁目1-1

講演 1 フォトジャーナリスト・豊崎博光

「atomic age — 核の歴史を記録する」

世界中の核の現場を訪れたベテランが、核の歴史を伝えることの意味を語ります。



マーシャル諸島での取材で、放射能汚染チェックを受ける＝1978年



戦後70周年、アースデイ東京2015で被爆体験を語る

講演 2 被爆者・服部道子

「はっちゃんがどうしても伝えたいこと」

紙芝居や被爆現場を訪ねたこの夏の映像を交えて、見習い看護師が体験したあの日の広島を語ります。

YES PEACE! コンサート しらいみちよ

今年、アースデイ東京でのSDGs ハッピーアースパレードで生まれた歌「YES PEACE!」は、子どもたちにも人気です。

交流会 終了後～19時ごろ、会場ロビーで



アースデイ東京2018のパレードでYES PEACE! を熱唱

若い人たちが大勢詰めかけた台湾での写真展



世界ヒバクシャ展

10時30分～21時 ロビー

6人の日本人写真家が撮影した、原爆、核実験、原発事故、劣化ウラン弾、ウラン鉱山などが生み出した世界中のヒバクシャや核汚染の現場の写真を展示。

参加費 前売2000円(学生1500円) 当日2200円(同1700円)

※いずれもYES PEACE! CD付き

チケットは、下記サイトから事前にご購入ください。

Facebook Yes Peace! 伝えたい 核とヒバクシャ ➡チケット

(電話予約も受け付けます。)

主催 YES PEACE! プロジェクト (NPO法人世界ヒバクシャ展)
hibakushaten@gmail.com 080-3558-3369 (安在)

協賛 地球環境蘇生化実践協会

出演者プロフィール



豊崎博光 1948年 神奈川県生まれ。フォトジャーナリスト。78年、アメリカの核実験の被害を受けたマーシャル諸島の人々の取材を始めたことをきっかけに、アメリカ、太平洋の島々、オーストラリア、カナダ、旧ソ連、ドイツなどのウラン鉱石の採掘と精錬、原発の運転と原発事故、核実験、核廃棄物処理などによるヒバクシャを取材。95年、第一回平和・協同ジャーナリスト基金賞を「アトミック・エイジ」で受賞。2005年、「マーシャル諸島 核の世紀」で日本ジャーナリスト会議賞を受賞。



服部道子 埼玉県在住。16歳の時、看護の仕事を始めたばかりの軍医部で被爆し、死の淵の人々を必死で看病した。戦後すぐに、広島を離れて、青森県、宮城県、福島県、東京都などで厳しい生活を送った。病魔にも何度も襲われたが、被爆体験を後世の人に伝えようと、50代から始めた語り部の活動は30年を超える。2013年3月から「非核特使」として約4ヵ月にわたってピースボートに乗船し、世界各地で核廃絶を訴えた。著書『『あの日』ピカドンが』（文芸社）。



しらいみちよ コーラスグループ「和田弘とマヒナスターズ」の女性ボーカルとして活躍後、自分の音楽を探し求め、旅を続ける。富山県八尾町の祭り『風の盆』との出会いをきっかけに、日本のわび・さびを音や間で表現する独自のジャンル「音風流」を確立する。S.スビルバーグ率いるドリームワークス制作のアニメ映画「プリンスオブエジプト」のシンガーに選ばれ主題歌を唄うなどの音楽活動の一方で、森の再生、生き物たちの生態系保護にも関わり、阪神淡路大震災や東日本大震災の鎮護の桜の植樹などを続けている。

ヒバクシャの思いを世界へ 世界ヒバクシャ展とYES PEACE! プロジェクト

核のない世界の実現を目指して力強く生きるヒバクシャを写真で伝える世界ヒバクシャ展は、国内外で多くの人々の共感を呼んできました。

この活動をより多くの方々に知ってもらい、ヒバクシャが強く願う平和を目指すために、戦後70周年の2015年からYES PEACE! プロジェクトに取り組んでいます。

世界ヒバクシャ展の写真は貸し出しもしています。

お気軽にお問い合わせください。

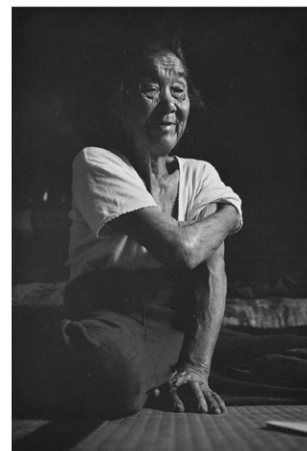
WEB 世界ヒバクシャ展

連絡先 hibakushaten@gmail.com

080-3558-3369 (安在)



核廃棄物海洋投棄(日本海) 撮影 桐生広人



被爆者: 藤原モトヨ(広島) 撮影 森下一徹



韓国のヒロシマ(陝川=ハプチョン) 撮影 伊藤孝司



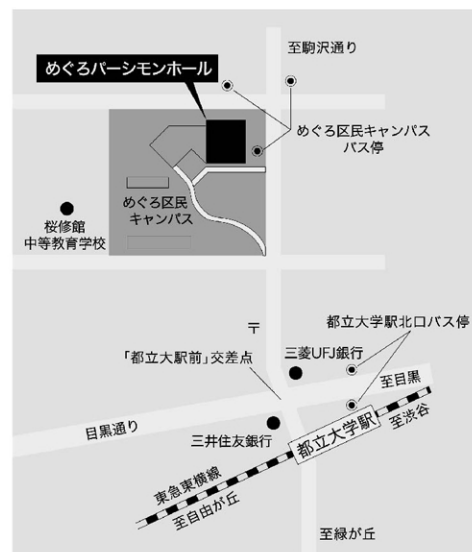
聖地を守れ(オーストラリア) 撮影 豊崎博光



子どもたちの帰宅(飯館村) 撮影 森住卓



こんにちは(ベラルーシ) 撮影 本橋成一



デザイン: 伊勢功治